

分野	授業科目名	単位数	時間数	配当時期	担当教師
専門基礎	中枢神経機能障害	1	30	2年次 前期	京都第二赤十字病院 医師

テキスト(発行所)	脳神経機能障害(外科系・内科系)―脳・神経(医学書院) 感覚機能障害(眼科)―眼(医学書院) 感覚機能障害(耳鼻・気管科)―耳鼻咽喉(医学書院) 嚥下障害―耳鼻咽喉(医学書院)
-----------	---

学習目標	人間の基本的な機能である、脳機能、感覚機能、嚥下機能が障害された状態の診断、検査、症状、治療、処置等について理解する。 これらの機能障害が人間の生活に及ぼす影響を考える。
------	--

学習スケジュール			
単元	回数	主題	履修形態 他
脳機能障害 (外科系)	1回	脳機能・解剖・脳ヘルニア・意識障害(総論)	脳神経外科医師 講義
	2回	脳機能の診察・検査・治療(脳外科総論)	
	3回	頭部外傷・脊髄疾患・水頭症	
	4回	脳血管障害	
	5回	脳腫瘍	
脳機能障害 (内科系)	1回	脳・神経系の構造と機能	脳神経内科医師 講義
	2回	脳血管障害	脳神経内科医師 講義
	3回	感染症、免疫性神経疾患(多発性硬化症、重症筋無力症、ギラン・バレー症候群など)	脳神経内科医師 講義
	4回	神経変性疾患(パーキンソン病、パーキンソニズム、脊髄小脳変性症、筋移植性側索硬化症など)	脳神経内科医師 講義
	5回	ニューロパチー、認知症、発作性疾患(頭痛、てんかん)	脳神経内科医師 講義
感覚機能障害 (眼科)	1回	眼の基本構造・視力と視野・色覚・眼球運動・検査	眼科医師 講義
	2回	代表的な眼疾患	眼科医師 講義
感覚機能障害 (耳鼻咽喉)	1回	頭頸部腫瘍の疾患と病態・治療	耳鼻咽喉科医師 講義
	2回	耳科疾患と病態と治療、顔面神経麻痺、鼻疾患	耳鼻咽喉科医師 講義
嚥下障害	3回	喉頭疾患(腫瘍を除く)嚥下障害の病態と治療	気管食道外科医師 講義

単位認定 の方法	1. 30時間のうち、24時間以上の出席があること 2. 計100点満点の試験を行う。合わせて60点以上で合格とする。
注意事項	解剖生理を復習して講義に臨むこと。